

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年4月1日

事業所名:児童発達支援事業所わくわく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	・利用児やその日の活動内容に合わせて部屋を使い分けている。 定員に対して十分なスペースを確保している。 ・十分なスペースが確保されている。活動によりグループ分けをしたりして、安全を考慮したスペース確保も行っている。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	・その日の利用児によって職員の配置体制を整えている。 ・配置基準を満たすだけでなく、利用児の状況に合わせて、安全に配慮した配置が行われていると思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	・適宜パーテーションを使用する等活動内容によって部屋の使い分けをしている。 ・入口から室内まで段差無くスロープで入ることも出来る。階段(2段)の入口もあり、医ケアの有無、バギーやベビーカー等利用児の状況に応じ使い分けをしている。職員各々が情報を把握し配慮できていると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	・今、トイレは男女でわけてはいない。今後児童の成長もあるし、衝立等でわけることも必要かもしれない。(又、時間で区切る)。 ・細めに清掃を行い活動によって部屋の使い分けをしている。 ・適宜消毒を行ったり、日頃から衛生管理に留意している。排泄等で汚れた場合もすぐ掃除、消毒をし清潔を保ち心地よく過ごせる環境を整えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	・計画の振り返りはしているが、目標が曖昧なところがあるかもしれない。 ・業務改善に関する目標設定、振り返りが曖昧な部分がある。 ・業務効率化の書類を作成したりしている。作成の際は各職員に意見を求めたりしている為、参画できているといえる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	・保護者からの要望があった際は(困っていることも)職員会議をすぐ行い検討している。検討内容は全体配布のお便りにてお伝えしている。 ・LINEアンケートを活用する等しながら意向の吸い取りをし頂いた意見には迅速に対応している。 ・初年度の為評価から得られた意向は、把握・業務改善に今後つなげて行く。(ミーティング等で周知)
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	・年に一度行っている。ホームページにて公開。 ・初年度の為評価から得られた意向は、把握・業務改善に今後つなげていく。(ミーティング等で周知)
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	・やる予定。 ・外部評価を受けていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	・研修の機会を確保するための取り組みに今後工夫が必要。 ・定期的に研修を実施している。外部研修への参加もしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	・適切なアセスメントの実施をし、保護者ニーズに合わせた計画の作成をしている。 ・児童発達支援管理者を中心に全職員でアセスメントを行う。保護者と定期的に面談を実施し支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	4	・ガイドラインに基づき支援計画の設定をし、支援に当たっている。 ・児童発達支援ガイドラインに基づき、支援項目の選択・支援内容の設定がなされていると思う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	・計画に沿って支援を行い、計画は職員が見やすい所に掲示している。 ・日々の記録も支援計画に沿った支援が行えるよう意識している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	・様々な職員が担当し、個性豊かなプログラムとなっている。 ・主担当の職員が立案しながらも内容は皆で意見を出し合って決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	・様々な活動を立案し、内容にも工夫している。 ・月ごと活動予定表を作成し、同じ活動が続かないよう多様なプログラムを取り入れ実施している。(同じ活動でも内容が違う等)
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	・集団活動の中で支援する部分と個別で支援する部分と使い分けながら子ども一人一人に合わせた計画の設定をしている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	・毎朝打ち合わせのミーティングをし活動内容、ねらい、役割の確認をしている。 ・朝のミーティング時に確認している。 ・ミーティングに参加できない非常勤職員には個別に支援内容や担当を伝えている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	・日々のミーティングで実施。 ・毎日振り返りのミーティングをし記録に残した上で、全職員で周知している。 ・ミーティングを行い、業務連絡や児童情報等をミーティングノートに記録し、休みの職員も情報を共有できるようにしている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	・毎日のメイプル日誌(支援記録)の入力をし、支援会議の際に活用もしている。 ・ミーティングで共有・検討し、改善につなげている。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	・設定した期間にてモニタリングを実施、計画の見直しをしている。 ・定期的にモニタリングを行い、ミーティングで都度検討している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児発管が参画。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	・連携が必要な先(保健師、併行通園先等)とは繋がり、支援を行っている。 ・相談支援事業所と連携して支援を行っている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	1	・関係各所とは必要に応じ連携できている。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	0	・指示書に基づき連絡体制も取れている。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・併行通園先への訪問や話し合いの場は適宜設けている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	・就学先への情報共有(かけはしシート)をし必要に応じ面談も実施している。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2	・まだ機会が少ない為、今後増やしていく必要性はある。 ・必要に応じて適宜行っている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6	・個々で併行通園で交流のある子はいるが、わくわくとしての交流は今はない。 ・インクルーシブな環境での支援のため外部とのこの様な交流はないがケアのある子が来所してる時はある。 ・交流の機会があれば今後増やしていく。(現時点は)
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4	・積極的にさんかはできていない。 ・事業所単位では参加していない。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	・保護者による送迎があるため、送迎時に伝えあう。 ・毎日担当職員から保護者へ子どもの様子の伝達をし保護者から出た話、相談についてはミーティングで共有。 ・利用後お迎え時に子供の様子や見えた課題について伝えている。家での様子を伺いながら、適宜情報共有している。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	6	・研修があれば参加したい。 ・アドバイス等は行っているがペアトレ等は行っていない。 ・保護者支援の機会を今後増やしていく工夫は必要。(現時点だと不十分) ・個別に対応し支援を行っている。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	・契約時に充分説明を行っている。 ・見学時や契約時に行っている。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	・利用所日までに説明を行い同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	・モニタリングの際に応じている。 ・立ち話程度になるが毎日の保護者との情報交換、申し出があれば適宜面談の実施 ・必要に応じ個別に対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6	・医ケア母から、職員の医ケア母へのアドバイスは行っているが、保護者同士の連携はできていない。 ・親子遠足を開催。 ・保護者同士の関わりが出来る場、機械の設定を今後増やして行く必要がある。(開所1年目は一度のみ親子企画実施)
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	・相談やご意見があった際は迅速に対応。苦情に関しては窓口等の体制を整備している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	・毎月のお便りにて発行。 ・月に一回お便りを発行している。その他必要時は適宜手紙の配布をしている。 ・おたよりや活動予定表、Instagram等で情報を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	1	・個々が注意して取扱うでとどまっている。文面の整備等はまだまだ不十分。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	・意志を確認するツール(絵カード、マカトン等)を使用している。 ・絵のカードを使ったり、二択にしながら選べるようにしたり、表情や意思を汲み取れるよう気を付けている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	・今後開催できると良い。検討事案。 ・地域交流を図る機会に今後工夫が必要。(現時点だと不十分。)
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	2	・感染症対応や防犯の対応など勉強会や訓練の実施を今後行っていく必要がある。(現時点では不十分)
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	・月に一回避難訓練を実施し記録に残している。 ・活動の一環として避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	・入所時のアセスメント、アセスメント結果の共有を必ず行っている。 ・災害用の予備薬や経管栄養剤等必要に応じてご家族にご協力頂いている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	・現在該当児はいないが受け入れる際は指示書に基づいて対応。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	・ヒヤリハットは必ず全職員で共有しサイン(記録)を残している。 ・ヒヤリハット発生時、ミーティングで共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	・虐待防止研修を開催している(年一回以上) ・虐待防止研修を実施、参加。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	・支援計画に明記し、保護者の同意も得ている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。